
よくある質問

昭和電工武道スポーツセンターについて

オープンはいつですか？

平成 29 年 3 月に建設を始めて、平成 31 年 4 月に完成。令和元年 6 月 1 日にグランドオープンしました。

総工費はいくらですか？

約 79 億 6, 0 0 0 万円です。

昭和電工武道スポーツセンターにはどのような施設がありますか？

昭和電工武道スポーツセンターには 3 つの施設があります。

- ① 武道をはじめとする様々なスポーツが楽しめる縦 40m×横 81mの大きな多目的競技場
- ② 3 つの武道専用道場からなる武道場（道場 1、道場 2、道場 3）
- ③ 体の機能を高める機器が揃ったトレーニングルーム

施設はどんな使い方ができるのですか？

大きく分けて 3 つの使い方ができます。

- ① 大会などで全面を使う方法
- ② クラブチームの練習などで部分的（1/2、1/4）に使う方法
- ③ 個人がバドミントン、卓球などを 1 面単位で使う方法
（武道場の個人使用は、空きスペースを人単位で使用するようになります）

天井のはりの木について教えてください。

多目的競技場と武道場の天井を支えるはりには県産杉を使用しています。多目的競技場の無垢材を使用した屋根構造は、日本最大級の約 70 メートルの大スパンです。

武道場入り口の鍍絵について教えてください。

鍍絵（こてえ）は、左官職人が漆喰（しっくい）を使って家や土蔵の壁などに浮き彫りにして絵を描いたものです。江戸時代中期から始まったとされ、現在も県内の宇佐安心院地域に数多く残されています。武道場のエントランスの壁面に設置されているのは武道競技をモチーフにしたもので、豊後鍍絵師仁五さんの作品です。

内装の竹工芸品について教えてください。

竹工芸で初めて人間国宝となった県内出身の生野祥雲斎氏をはじめとする別府の竹細工の伝統と技法を、通路の照明カバーや壁面・天井などの内装に取り入れています。

七島い（しちとうい）について教えてください。

世界農業遺産に認定されている国東半島宇佐地域で江戸時代から栽培されている七島いを使った畳を施設内のベンチに使用しています。

昭和電工武道スポーツセンターはどこにありますか？

大分スポーツ公園内にあります。
昭和電工ドーム大分のすぐ横です。